

株式会社 日本エコジニア
2023 年度 環境経営レポート
(2023 年 9 月～2024 年 8 月)



作成日 2024 年 10 月 1 日

環境経営方針

《基本理念》

私たち（株）日本エコジニアは、「100年先の地球づくり」をもとに、社員の一人、一人が環境保全を意識し、本社や現場の活動において地球環境を維持し、日々の環境の改善に貢献するために積極的に取り組む。

《行動指針》

- ① 本社事務所及び各現場の使用電力量の低減
- ② 作業現場から排出する廃棄物の分別
- ③ 水道使用量の低減
- ④ 現場内外の美化活動を推進
- ⑤ 省エネマーク等を配慮してグリーン購入の推進
- ⑥ 環境方針の従業員への周知徹底
- ⑦ 当社に関連する環境法規を遵守

更新日：令和2年4月1日

株式会社 日本エコジニア
代表取締役 渋谷 巧

■登録事業所の概要

・株式会社 日本エコジニア

・住所 〒350-1117

埼玉県広栄町 24-3

・TEL 0120-265-368

・FAX 049-235-9772

049-293-2919

・代表取締役 渋谷 巧

・環境管理責任者及び担当者 山形 将平

・事業内容

解体工事業

■売上高

43 億円

■事業規模

従業員 28 人

事務所 床面積 262.01 m²

■法人設立年月日及び事業年度

法人設立日 平成 21 年 9 月 1 日

事業年度 9 月～翌 8 月

■資本金

5 千万円

■許可の内容

・一般建設業

埼玉県知事 許可（特-4）第 68412 号

令和 4 年 6 月 10 日から令和 9 年 6 月 9 日まで

■組織図



e-group

日本エコジニア

優伸コーポレーション イースタッフ イーホープ イーファイン イービス
 イービリーブ イービス イーファースト イーライズ イーネットエージェンシー

※枠線は対象外

■環境目標

環境目標		基準年実績 2018 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
1. 二酸化炭素 排出量 削減	(1)電力使用 量	1,481	1,422	1,407	1392	1377
		kwh/人	△4%	△5%	△6%	△7%
	(2)ガソ リン使用 量	978	939	929	921	910
		L/人	△4%	△5%	△6%	△7%
2. 一般廃棄物排 出量		174	165	164	163	162
		kg/人	△4%	△5%	△6%	△7%
		t/人				
3. 水使用		4.25	4.12	4.08	4.04	4.00
		m³/人	△3%	△4%	△5%	△6%
4. 自らが施工するサ ービスについての環 境配慮の検討		90%	分別によるリサイクル率の向上 目標:90%			
6. 美化活動		週1回清掃活動の実施				

※化学物質は使用しないため目標設定無し

※2018 年度は 16 人 2021 年以降は26人、2023年度 28 人

※二酸化炭素排出係数は 0.574kg・CO₂/kWh （電力会社：a u でんき 2018 年度実績）

※産業廃棄物は工事高により変動するため、発生量→リサイクル率向上とする

■環境活動方法と評価、次年度の取り組み

エコ活動	方法	評価	次年度の 取り組み
電力の削減	節電の実施 電気のスイッチ、エアコンのリモコン、 コピー機、に節電を呼びかけ。 エアコン温度管理。 クールビズ ウォームビズ	◎	継続します。
ガソリンの削減	エコ運転の実施 アイドリングストップ	○	継続します。
	ハイブリッド車導入	◎	4 台導入しま す
事務所等のごみの削減	コピー機使用を必要最低限にする。 要らない紙の裏を使用し使用枚数 を増やさない。	◎	継続します。
水道使用	節水を呼び掛ける	○	継続します。
全体へのエコ活動の呼び かけ	総会での呼びかけ グループ LINE での呼びかけ	○	継続します。
・自らが施工するサービスにつ いての環境配慮の検討	分別によるリサイクル グループ会社へ解体方法の指導	○	更なる分別の 徹底並びに新 規再資源化先 の開拓。
美化活動を実施	近隣清掃	◎	継続します。

注) ◎：実施、 ○：ほぼ実施、 △：やや未実施

■環境目標及実績とその評価

環境目標	2023 年目標	2023 年実績	比率	達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減 (kg-CO ₂)	-	99173	-	-
(1)電力使用量 (kwh/人)	1392	2996	215%	×
(2)ガソリン使用量 (L/人)	921	1013	109%	△
2. 一般廃棄物排出量 (kg/人)	163	198	121%	△
3. 水使用 (m ³ /人)	4.04	4.3	106%	△
4. 自らが施工するサービスに についての環境配慮の検討	分別によるリ サイクル率の 向上 90%	分別実施 98%	91%	○
6. 美化活動	週一回	週一回	100%	○

※化学物質は使用しないため目標設定無し

※比率が 100%以下：○、101～130：△、130 以上：×

■環境関連法規等の遵守状況の確認及び計画の結果並びに違反、訴訟等の有無

建設リサイクル法	廃棄物のリサイクル 工事内容の指導	○
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ等）の廃棄委託・適正処理	○
騒音規制法	騒音値、作業時間遵守	○
振動規制法	振動値、作業時間遵守	○
道路運送車両法	定期点検、整備記録、自動車検査員の届け出	○
自動車リサイクル法	営業用乗用車（ガソリン車）の適正廃車処理	○
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫の適正廃棄	○
小型家電リサイクル法	電卓・携帯電話端末・PC・プリンター・プロジェクターの適正廃棄	○
大気汚染防止法	石綿含有産業廃棄物の飛散防止	○
フロン排出抑制法	フロン漏えいの3か月ごとの簡易点検	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去8年間ありませんでした。

■代表者による全体の評価と見直し

売上増加にともない、業務拡大による環境への負荷は増えてきましたが、今後も減らせるようにエコ活動に取り組んで行きたいと思います。

環境への意識レベルを、引き続き教育を行っていくことで、徐々に目標値を高め、目標達成できるように努力していききたいと思います。